

平成23年度  
実施事業

事務事業名	学校医等表彰経費
-------	----------

区分	No	名称
章	5	豊かな個性と人間性を育むまち
節	2	学校・家庭・地域と連携し心豊かな人間性を育む
施策	1	子どもたちの生きる力を育む
小分類	3	たくましく生きるための健康や体力づくり
主要な施策	3	地域との連携
事務事業番号	001	事業開始年度 昭和 56 年度 事業終了年度 平成 - 年度 会計種別 一般会計

部 名	教育部	グループ名	学校教育 G
-----	-----	-------	--------

事務事業の概要

《Plan・Do》

目的	(事務事業の実施目的を具体的に記入してください)
	長年にわたり本市市立学校の学校医、学校歯科医及び学校薬剤師として、児童生徒等の健康の保持増進と保健教育の振興に貢献した者に対し、その功績をたたえ表彰することを目的とする。
事業内容及び実績	(事業内容及び平成23年度の実績を具体的に記入してください)
	児童生徒等の健康の保持増進と保健教育の振興に貢献した者に対し、その功績を称え表彰する。 【表彰対象者】 ・学校医・学校歯科医・学校薬剤師 【表彰区分】 ・～10年以上・20年以上・30年以上 【事業実績】 ・10年表彰対象者：3名 ・20年表彰対象者：1名
今後の方向性	(次年度以降の事業展開における改善など今後の方向性を具体的に記入してください)
	児童生徒等の健康の保持増進と保健教育の振興に貢献された方への表彰を通じ、学校保健教育の更なる充実を図る。
根拠法令等	(事業を実施する際、根拠となる法令・条例・規則・要綱等の名称を全て記入してください)
	登別市学校学校医等表彰規程

事業費（財源内訳）の推移

《Plan・Do》

区分		単位	H22年度 決算	H23年度 決算	H24年度 当初予算	H25年度 見込	H26年度 見込
国庫支出金	名称	千円					
道支出金	名称	千円					
地方債	名称	千円					
その他	名称	千円					
一般財源	名称	千円	46	53	116	66	101
事業費 合計			46	53	116	66	101

指標の推移

《Check》

区分		単位	区分	22年度 実績	23年度 実績	24年度 目標	25年度 目標	26年度 目標
成果 指標	表彰者数	人	目標値	3	4	6	4	6
			実績値	3	4			
			目標値					
			実績値					

現況		《Check》
現状の状態、問題点、課題等《事業前》	具体的な対策、解決の方向性《事業後》	
児童生徒等の健康の保持増進と保健教育の振興に貢献した者に対し、その功績を称え表彰する。	本表彰事業を継続的に行うことにより、内外にその功績を表すことを通じて、学校保健教育の更なる充実を図る。	

**担当グループによる事務事業評価の内容（複数回答可）** 《Check》

1. 事務事業の妥当性について			
市が事業主体として実施していくべき妥当性の高い事業ですか？	<input type="checkbox"/>	市が主体に行うべき事業である	判断理由及びその他所見 学校保健教育の更なる充実を図るため、市が本事業を行うことは妥当である。
	<input type="checkbox"/>	民間(事業者、市民団体等)でも実施可能である	
	<input type="checkbox"/>	国、道、他団体等との連携や広域化が可能である	
	<input type="checkbox"/>	国、道、民間等の事業と重複・類似している	
2. 事務事業の必要性について			
市民ニーズの状況等から勘案して、必要性の高い事業ですか？	<input type="checkbox"/>	市民、団体等から具体的な要望がある	判断理由及びその他所見 表彰を継続的に行うことにより、内外にその功績を表すことができる。
	<input type="checkbox"/>	市民アンケートの結果から必要性が高い	
	<input type="checkbox"/>	社会情勢、地域事情等から必要性が高い	
	<input type="checkbox"/>	市民の大部分が関連することから必要性が高い	
3. 事務事業の効率性について			
事業内容とコスト(事業費)のバランスがよい効率性の高い事業ですか？	<input type="checkbox"/>	低予算、少労力で高い効果をあげている	判断理由及びその他所見 当初より、表彰状、記念品は必要最低限のものを選定している。
	<input type="checkbox"/>	市で実施するほうが民間委託より効率性が高い	
	<input type="checkbox"/>	多額の経費や労力を要するがやむを得ない	
	<input type="checkbox"/>	将来的に効率性を向上できる	
4. 事務事業の成果について			
目的を達成するための成果はあがっていますか？	<input type="checkbox"/>	成果指標の向上が見られる	判断理由及びその他所見 本事業は性質上、具体的な指標によって効果を測れないが、継続的に実施することにより、学校保健教育の充実に寄与するものである。
	<input type="checkbox"/>	市民、団体等の声から成果を感じられる	
	<input type="checkbox"/>	目に見える形で成果があがっている	
	<input type="checkbox"/>	成果の把握は困難である	

**担当グループによる評価** 《Check》

<b>維持</b>	左記の評価を選択した具体的な理由(根拠)	児童生徒等の健康増進、保健教育の振興に貢献する事業である。
-----------	----------------------	-------------------------------

**行政評価会議による評価** 《Check》

<b>維持</b>	備考	
-----------	----	--